

One to One

押さえておきたい! 改正NPO法理解講座

NPO法改正にともなう
登記や定款変更の
お手続きはお済みですか?

登米 柴田 石巻で開催します!

今年4月から施行されている改正NPO法。宮城県でも、仙台市にのみ事務所を置く法人の所轄庁が仙台市へ変更になったことや、認定NPO法人の認定基準の緩和などの情報は比較的に知られているようですが、ほとんどのNPO法人が該当すると思われる変更登記や定款変更については、まだまだ知られていないようです。しかし、理事の代表権の制限に関する登記は、施行の日から6カ月以内。つまり今年9月末までに行わなければなりません。これらの登記を怠った場合は、20万円以下の過料に処せられる場合もあります。登記上、今まで通り全理事が代表権を持つことにしても、団体の定款に「理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する」等の規定がある場合は、定款変更が必要になります。

また、法改正により、総会で議決が必要な事項が発生した際、その提案について正会員全員が書面や電磁的記録(メールやCD-Rなどの磁気媒体など)により同意の意思表示をしたときは、総会決議があったものとみなす「みなし総会決議」が可能となりました。しかし、そのためには、団体の定款にそれを示す文章の記載が必要です。

このように、今回の法改正によって、おそらくは全てのNPO法人に関わると思われる様々な事項について、理解を深め、各団



▲5月10日に開催した「改正NPO法理解講座」の様子

体が的確に対処できるようにと、みやぎNPOプラザでは、5月10日に「押さえておきたい!改正NPO法理解講座」を開催しました。当日は、定員を超える37名の方が参加し、アンケートからも、理解度・満足度がとても高い講座になりました。しかし、参加者の大半は、仙台市を拠点に活動している団体でした。そこで、宮城県全域を支援対象にしているみやぎNPOプラザとしては、より多くの地域のNPO法人に情報を届けたいと考え、7月に登米市、柴田町、石巻市で、同じ講座を開催することにしました。

NPO法人は、特定非営利活動促進法に基づいて認証された法人です。この機会に、自団体の定款をよく読みなおし、NPO法の改正ポイントと照らし合わせて、適正な対応に取り組みましょう。

今後の出前講座予定

※申込方法・連絡先については、裏面をご覧ください

■登米市会場

日時:7月12日(木) 14:00~16:00

場所:登米市迫公民館

■柴田町会場

日時:7月18日(水) 18:30~20:30

場所:柴田町まちづくり推進センター(ゆる.ぷら)

■石巻市会場

日時:7月25日(水) 14:00~16:00

場所:石巻市役所4階401会議室

■共通事項

講師:大久保朝江

(みやぎNPOプラザ館長、(特活)社の伝言板ゆるる代表理事)

対象:NPO法人の代表、役員、スタッフ など

定員:登米市50名 柴田町20名 石巻市30名(先着順)

資料代:500円

主催:宮城県(みやぎNPOプラザ)

後援:登米市、柴田町、石巻市

企画・実施:(特活)社の伝言板ゆるる



みやぎNPO夢ファンド

～3つのプログラムで支援～

平成24年度 助成団体決定!



▲助成が決定した、(特活)スマイル劇団の発表

衣替えも過ぎ、夏に向けて暖かさも増してきた5月26日、みやぎNPOプラザの交流サロンにおいて、「みやぎNPO夢ファンド」のスタートアップ支援プログラム及び組織開発支援プログラムの2次審査(公開コンペ)が開催されました。

2つの支援プログラムの1次審査を通過した計8団体の発表者が、運用委員からの鋭い質問に言葉を詰まらせながらも、限られた時間内で応募事業の内容や期待される成果について発表し、結果全ての団体への助成が決定しました。

これにより、すでに助成団体が決定しているステップアップ支援プログラムと合わせて、平成24年度の助成先団体11団体が右記のとおり決定しました。今回は、決定した団体の中から2団体を紹介します。

スタートアップ支援プログラム (特活)防災士会みやぎ

防災士会みやぎは、「自助」「共助」をキーワードに、防災士のスキルアップを目指した研修会でのリーダー育成、一般の方に向けた講座や講演会による防災・減災の啓発活動などを行っている団体です。昨年の東日本大震災で多くの命が奪われた経験を受け、今回の「幼児・児童を対象とした『減災絵本』の作成事業」を提案、助成が決定しました。

この絵本は、これからの地域・社会を担っていく子どもたちを主な対象に、地震やその他の自然災害に対する知識と災害に対する適切な対応を知り、安全な行動をとることができるよう、効果的にイラストを活用した「減災のためのわかりやすい解説本」を目指して作成して行きます。作成後はこれを用いて、防災士のメンバーによる小学校や幼稚園などの朗読会を行っていきたくと考えています。災害時に子ども達に安全な行動をしてもらうことはもちろんですが、常日頃からの「意識」を高めてもらうことが大きな目的です。朗読会の他に、幼稚園や小学校、図書館等に無償配布し、一般の方に幅広く活用してもらうことも考えています。

「適切な対応と知識、そして各々の意識があれば、3.11の震災でのように多くの命が失われることはなくなる。この絵本を導入部分にして、防災・減災の『意識の輪』を広げていければ良いと思っています」と、理事の黒田典子さん。絵本の作成については、これから団体内での打ち合わせを重ね、内容を詰めていきます。

組織開発支援プログラム (特活)スマイル劇団

(特活)スマイル劇団は、認知症に関する講座やサポーター養成講座、小学校などでの寸劇や紙芝居等を通じた認知症の普及活動を行っている団体です。大学での講義や県外からの講演依頼にも対応しています。

現在、メンバーの多くはそれぞれ団体とは別に仕事を持っているため、週末以外はなかなか活動ができず、メインとしている小中学校を思うように訪問できないという問題を抱えています。しかし、これから高齢化が進む中、事業の必要性も同時に高くなっていくことは必然です。そこで今回、新規の劇団員を養成し、組織の基盤を強化するために、認知症普及啓発に携わる人材の育成事業として

■スタートアップ支援プログラム 助成先団体

すでに活動している団体が新規事業を立ち上げるときやこれから活動を始める団体に、その初期費用の一部を助成

団体名	助成対象事業名	助成額
(特活)子育て応援団ひよこ	子育て支援者育成事業	30万円
(特活)防災士会みやぎ	幼児・児童対象の『減災絵本』作成事業	30万円
(特活)JETOみやぎ	教育・就学支援コンサルティング事業	30万円
オオサキノオト織集堂	大蔵地域フリーペーパー発行プロジェクト	30万円
一般社団法人つむぎや	社会福祉「マーマイド」飲食店経営経営ノウハウ書籍事業	28万円

■組織開発支援プログラム 助成先団体

組織の抱えている課題の解決を目的とした組織づくりや人材育成・情報発信の体制を強化したいNPOに対して、必要な経費の一部を助成

団体名	助成対象事業名	助成額
(特活)POSSE	事業周知と寄付金及び会員数増加のための広報活動事業	28万円
(特活)スマイル劇団	認知症普及啓発に携わる人材の育成	30万円
(特活)ふうどばんく東北AGAIN	情報発信体制の整備による組織基盤強化事業	30万円

夢ファンドを申請、見事助成金を獲得することができました。同時に、ホームページの開設やパンフレットのリニューアルなど団体の周知にも力を入れ、息の長い活動を目指します。

「高齢化社会を迎え、その社会を支えていく若い世代の方に、認知症に関する正しい情報を知ってもらう必要がある。今回の事業で団体の体制を整え、これからのより良い社会に向けた活動に力を入れていきたい」と代表の佐野さんは語ります。

みやぎNPO夢ファンド運用委員会委員長 高浦康有さんからの総評

今年度の夢ファンドも、仮設住宅のコミュニティづくりや被災地の仕事創出、震災遺児の教育支援など東日本大震災に関連した多様な分野のNPOからの申請が目立ちました。特に震災から1年以上が経過する中で、他の団体との連携により支援サービスの拡充を図ったり、活動状況をリーフレットやホームページ等を通じて広く告知することで支援者をさらに獲得することを目指したりするなど、より息の長い取り組みに各NPOが移行している傾向をつかむことができました。震災を契機にあらためて地域の絆の大切さが認

みやぎNPO夢ファンドとは?

宮城県の拠出金と市民・企業等からの寄附金を原資とするコミュニティファンド(地域基金)のことで、県内NPOの自主的、自律的な活動の促進を目的としています。宮城県と(特活)せんだいみやぎNPOセンターとの協働により設置・運営しています。

■ステップアップ支援プログラム 助成先団体

宮城県のモデルケースへの発展が期待される非常に公益性の高い事業を実施するNPOに対して、その事業費の一部を助成

団体名	助成対象事業名	助成額
(特活)POSSE	事業周知と寄付金及び会員数増加のための広報活動事業	28万円
(特活)スマイル劇団	認知症普及啓発に携わる人材の育成	30万円
(特活)ふうどばんく東北AGAIN	情報発信体制の整備による組織基盤強化事業	30万円

識され、仙台周辺でも子育て支援者のネットワークづくりや街の活性化に向けた情報支援、離島と都市部の交流事業などの取り組みが進んでいることにも気づかされました。

一方、仙台中心部では、障がい者アートのプログラムづくりや犯罪被害者家族のケア、認知症教育など、より先進的な市民活動の動きを見てとることができます。私たちにあってより身近な存在として定着してきたNPOですが、震災直後と比較し世間の関心が薄らいでいくにつれ、十分な助成金を得ることが難しくなっており、存続していくには夢ファンドのような公的助成が不可欠となっています。助成対象として選ばれた団体の多くが、当ファンドを活用することで長期的な展望に立ち、宮城の復興を牽引するリーディングNPOとして成長していくことを期待しています。

運用委員会委員長の高浦康有
東北大学大学院経済学研究科准教授▶



「人と地域をむすぶ」 みさと地域活動サポートセンター オープン!

宮城県の第3次募集『新しい公共の場づくりのためのモデル事業』に選ばれ、昨年から開設準備を進めてきたみさと地域活動サポートセンターが、5月26日(土)に開所しました。

様々な分野で活躍する公益的な活動に取り組む団体や個人を支援する拠点です。美里町と美里町教育委員会、美里町社会福祉協議会で作る「運営協議会」とNPOやボランティア団体、自治会の代表らで組織する「運営会議体」が運営にあたります。

美里町には、NPO法人は現在6団体。今までのまちづくりや市民活動は、自治会主体の活動が主でしたが、子育て中の母親層など、市民活動の新しい担い手はまだ存在している地域です。そういった、これから地域の活性化につながる活動をしていこうという住民への情報提供や組織作りのサポートに力を注いでいきます。「住民密着型のサポートを目指しています」とサポートセンタースタッフは語ります。

拠点を設けただけに留まらず、人材育成事業の充実を図り、早速、月2回人材育成を目的とした団体のPR方法などを学ぶ実技の講座や組織運営に関する講座を企画しています。また、「まずは、サポートセンターの存在を知ってもらい、いろんな人たちに利用してもらい

たい」と、サポートセンターの活用方法を知らせる出前説明会も積極的に開催し、希望する自治会に向かっています。



7月の講座予定

実技講座

写真と文字とレイアウト～視覚から訴えるチラシづくり～

■日 時:7月17日(火)、24日(火) 9:45～11:45

■講 師:佐々木信也氏(フィルムアレンジエッグ代表)

座学講座

地域に密着した公益的活動とは～企画から実践までのプロセスに学ぶ～

■日 時:7月31日(火) 10:00～11:45

■講 師:佐藤雄司氏((特活)宮城県レクリエーション協会理事長)

みさと地域活動センター

【開館日・時間】月曜～金曜 9:00～17:00

【問合せ先】〒987-0038 遠田郡美里町駅東二丁目17-4

美里町駅東地域交流センター内

TEL/FAX: 0229-33-3715 E-mail: misato.spc@blue.ocn.ne.jp

会計の専門家と中間支援組織が連携 ～NPO法人会計基準に関する研究会発足～

平成24年4月にNPO法が改正され、NPOの会計報告書式が「収支計算書」から「活動計算書」に変更されました。それを機に、NPOを支援する中間支援NPOが、両方の立場からNPO法人会計基準の理解を深め、NPOの会計業務の質を高めていこうと「NPO法人会計基準に関する研究会」を立ち上げました。発起人は、東北大学会計大学院の教授であり、NPOプラザでも会計講座の講師や会計相談で活躍している公認会計士の成田由加里さんと、NPO法人の伝言板ゆるゆるの代表理事であり、みやぎNPOプラザ館長の大久保です。

4月25日に第1回の研究会が開催され、宮城県内の税理士のほか、仙台市と山形市のNPO支援組織のリーダーなど11名が参加しました。日頃感じているNPO法人の会計のあり方や課題、今後の進め方などについて意見交換した結果、これからの1年間で新しい会計基準に沿った報告に移行する際、出てきた事例や課題を共有し、どのような支援が必要かを検討することになりました。

みやぎNPOプラザでは、これまでNPO法人の会計を支援してきた実績を基に、これからNPOの信頼性を高めていくにあたり、より有効な会計支援を行っていくため、この研究会に参加し、会計の専

門家やNPO支援組織と一緒に研究して行くことにしました。

第2回は、みやぎNPOプラザが会場を提供し、6月13日に開催。宮城県内の税理士や、仙台のNPO支援組織のスタッフ、みやぎNPOプラザのスタッフ、宮城県のNPO・協働社会推進の担当者など12名が参加し、改めて研究会の目標を再確認して、事例を持ち寄り、課題の洗い出しを行いました。今後は、より多くの専門家に参加を呼び掛けながら、活動報告書の記載についてのチェックリストの作成を検討していく予定です。



第2回研究会の様子▶

みやぎNPOプラザ information

7~8月

●申込:講座・専門相談は要予約。所属団体・参加者氏名・連絡先・電話・FAX番号・質問事項をご記入のうえ、FAX・メール・電話にてお申込み下さい
●主催:宮城県(みやぎNPOプラザ) ●企画・実施:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

NPOのための会計・税務講座

押さえておきたい!改正NPO法理解講座

NPO法の改正に伴い、所轄庁の変更や会計報告の仕方も変わるほか、理事の代表権の制限に関する登記も必要になります。全NPO法人に関するNPO法改正のポイントを学びます。

- 日時:【登米市会場】7月12日(木) 14:00~16:00 定員50名
場所:登米市迫公民館
【柴田町会場】7月18日(水) 18:30~20:30 定員20名
場所:柴田町まちづくり推進センター「ゆるぶら」
【石巻市会場】7月25日(水) 14:00~16:00 定員30名
場所:石巻市役所4階401会議室
- 講師:大久保朝江(特活)杜の伝言板ゆるる代表理事
- 対象:NPO法人の代表、役員、スタッフなど ●資料代:500円

NPOのための専門相談

NPO夜学~あなたにもできる市民活動~

NPOとは何か、から立ち上げ方までを解説します。さらに働きながら市民活動に関わっているゲストをお招きし、活動に関する生の声をお届けします。

- 日時:8月30日(木) 19:00~21:00
- 講師:大久保朝江(特活)杜の伝言板ゆるる代表理事
- ゲスト:福井大輔さん(特活)アマニ・ヤ・アフリカ事務局長
- 対象:NPO、市民活動、ボランティア活動に興味のある方
- 定員:20名(申込先着順) ●参加費:800円

NPOのための専門相談

■会計・税務相談 →7/26(木)、8/31(金)

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- ◎相談対応:【7/26】小山かほるさん(公認会計士、税理士)
- 【8/31】成田由香里さん(公認会計士、税理士)

■経営相談→8/23(木)

熱血指導で大人気の経営コンサルタントが、マンツーマンでアドバイスします。

- ◎相談対応:波多野卓司さん(経営コンサルティング波多野事務所代表)

■法人設立・団体運営相談 → 毎週水曜日

NPO法人の設立に関することや、NPOの運営について、お気軽にご相談ください。

- ◎相談対応:大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)

【共通事項】

- 時間:13:00~17:00
(相談時間:1団体1時間程度(定員3団体))
- 申込方法:要予約。所属団体・参加者氏名・電話・FAX番号・質問事項をご記入のうえ、FAX・メール・電話にて下記連絡先までお申込み下さい。
- 申込締切:開催日の6日前

みやぎNPOプラザ 事務室使用団体募集!!

みやぎNPOプラザでは、NPOや市民活動団体の皆さんに、活動拠点になる事務室をお貸しします。皆さんの熱い想いを実現するため、プラザの事務室を活用してみませんか? 見学も随時お受けします。

- 募集施設および募集団体数 事務室(大)約18㎡、(中)約9㎡、(小)約4㎡ 各1団体
- 使用料 (大)月額18,000円、(中)月額9,000円、(小)月額4,000円
- 使用開始および使用期間 (大)平成24年10月2日(火)~、(中/小)平成24年9月1日(土)~(最長3年)

- 募集(申込)締切 7月19日(木)
- 公開ヒアリング・選考 7月26日(木)
- 選考結果連絡 7月27日(金)
- 使用開始 使用施設による

■新規のNPO法人認証団体

団体名	所在地	活動内容	認証日
蜂の子	石巻市	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業等	4/13
みやぎ子ども養育支援の会	石巻市	宮城県内の子ども達に対する小規模住居型児童養育事業等	4/13
運笑	多賀城市	災害地域における復興支援コーディネーター事業等	4/13
らんらん多賀城	塩竈市	障がい者及び高齢者等に対するウォーキング及びジョギング実施事業	4/18
宮城 意上げ	気仙沼市	自然災害で被災した人々に対する災害支援活動等	5/10
ピースジャム	気仙沼市	東北沿岸地域を中心とした子育て支援事業等	5/14
働く場づくりコナモレーw	女川町	人との繋がりを感じられる活動の場づくりに関する事業等	5/22
自然治癒力増進協会	富谷町	自然治癒力の増進による地域社会づくり事業等	5/25
aiふくしネットワーク	仙台市東区	高齢者及び要介護者に対する介護予防・生活支援事業等	5/28
まちの寄り合い所-うめばたけ	石巻市	世代間、地域住民、外国人などとの交流によるふれあい事業等	5/28
みらい南三陸	南三陸町	地域住民等に対して、生産活動の場づくり、及び新規事業の開発に関する事業等	5/29
光書会	蔵王町	介護保険制度に関するサービス提供受託事業等	6/4

NPO法人数 宮城県294団体 仙台市369団体

(平成24年6月10日現在)

※解散、所轄庁変更、認証取消、認証撤回した団体を除く

団体名	所在地	活動内容	認証日
日本調整療法協会	若林区	健康増進ボランティア活動事業、ボランティア能力育成事業等	4/19
防災士会みやぎ	宮城野区	防災知識の啓蒙活動事業、幅広い地域へ防災講演等の開催事業等	4/19
東北外科臨床研究推進機構NEXTSURG	青葉区	臨床研究支援事業、新規臨床研究推進事業等	4/26
仙 いろはの森	青葉区	高齢者・障害者の環境改善事業、青少年の社会教育事業等	5/1
千年の木	宮城野区	子ども・青少年や家族等からの相談を受け、子ども・青少年の悩みに応じた心理療法、社会福祉士と連携する事業等	5/7
日本水圏緑化計画	泉区	海中及び湖沼又は河川の緑化事業等	5/7
在日留学生協会	青葉区	在日留学生への相談・支援事業、国際交流に関する情報の収集・提供事業等	5/8
宮城国際支援の会	若林区	社会的弱者にあり及ぶ貧困を支援するための事業、国際交流の理解を深めるための事業等	5/18
先進福祉推進協会	青葉区	一体型グループケアホームの企画、運営、生活支援イベント、マンション、住宅等の提供等	5/31
ほっとたいむ	若林区	障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業の運営	6/5

One to One

発行日:2012年7月1日
発行:宮城県民間非営利活動プラザ(みやぎNPOプラザ)
発行部数:3,000部
編集:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
編集スタッフ:庄司真希 清野利之

【お問い合わせ】
〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榎ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp
URL:http://www.miyagi-npo.gr.jp

2012 JULY
vol.68

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひとが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるよう願いを込めたニュースレターです。